

P 指定 駐車場 マップ



このシールを貼っていると
指定駐車場です。



P 指定駐車場

駐車場	電話	台数
1 パーキングビル川上	095-822-3465	★★★
2 築町パーキングビル	095-827-3650	★★★★
3 牛島パーキング	095-820-2393	★★★
4 市民会館地下駐車場	095-824-7122	★★★★
5 メルカパーキング	095-823-9333	★★★
6 七福ビルガレージ	095-827-0007	★★
7 リファレンス銅座第2パーク	095-818-7052	★★★
8 山一パーキング	095-822-6132	★★★
9 長崎スカイパーク	095-824-6044	★★★★
10 銀嶺パーキング	095-823-7177	★★★
11 東亜閣パーキング	095-822-1252	★★★★
12 銅座町パーキング	095-823-7715	★★★★
13 銅座タワーパーキング	095-827-8886	★★★
14 出島ガレージ	095-827-0860	★★
15 万才町パーキング	095-823 8989	★★★
16 思案橋駐車場	095-826-0379	★★★★
17 市営桜町駐車場	095-826-7628	★★★★
18 湊公園タワーパーキング	095-823-5265	★★★
19 パーキングWITH	095-826-8210	★★
20 リファレンス銅座パーク	095-823-4120	★★★★
21 NACパーキング銅座町	095-822-1135	★★

★29台以下 ★★30~49台 ★★★50~99台 ★★★★100台以上
 ○上記駐車場は、「とむ~て.com」加盟駐車場です。
 ◎24h は、24時間営業駐車場です。

加盟駐車場の空き情報がひと目でわかる!

長崎市中心地区駐車場案内システム

とむ~て.com

携帯電話でも パソコンでも

www.tomuude.com

▲携帯電話の方はQRコードを読み取り、サイトを表示できます。
 各駐車場が端末から任意に送信する満空情報に基づいて表示されています。駐車可能であることを保証するものではありません。



浜づら MAP101

HAMABURA MAP SHOPPING & GOURMET

浜まち商店街の便利な情報サイト
 ショッピング・グルメ・イベントなど
お得な情報発信!

長崎浜まち.com

www.hamanmachi.com

浜づらMAP

HAMABURA MAP



「●」マークの店舗では、EdyやiD(電子マネー)、銀聯(中国版デビットカード)、キャッシュカード(銀行・郵便局)や各種クレジットカードがご利用いただけます。

1

2

3

4

5



眼鏡橋 4-A

中島川に架かる日本最古の石造アーチ橋。寛永11年(1634)、興福寺の住職により架設。名前の由来は、橋の2連アーチと水面に映るその姿が合わさると、メガネに見えることから。眼鏡橋の他にも多くの橋が架かる中島川一帯は風景があり、散歩道としても親しまれる。

土佐商会跡 4-A

幕末の土佐藩が貿易を行った長崎出張所。大砲や弾薬、艦船などを調達するのが目的であった。のちに三菱商會を創始する岩崎弥太郎も主任を務め、財閥をおこす力を養った。坂本龍馬もいる海援隊発祥の地でもある。

浜市アーケード 4-A

1671年、浜町に誕生した長崎を代表する繁華街。「浜んまち」の名で親しまれ、界隈を歩くことを「浜づら」という。浜町の名の由来は、浜辺の開墾にできたことから。船首を思わせるゲートが、貿易港で栄えた長崎の歴史を物語る。

ほてい様(竹谷健寿堂) 4-C

竹谷健寿堂は、浜町で最も老舗の薬局。入口には、ほてい様が微笑む。ほてい様のお腹をさすった手で自分の痛いところをさすと治る、また願いが叶うといわれる。長崎大水害の際、浮力で天井を突き破り無傷だったという強運伝説も持つ。

唐子地藏様 4-D

火事から住民を守った地藏様。建立は享保7年(1722)、慶応4年(1868)、浜町一帯に火の手が広がった際、人々が地藏様に手を合わせると、地藏様の前で火が止まったといわれ、今でも手厚く供養されている。

思案橋跡 5-E

かつて、ここには川が流れ、橋が架かっていた。その名も「思案橋」。花街時代、そこを渡れば日本三大遊廓の一つであった丸山遊廓。遊廓へ遊びに行こうか戻ろうか、思案させる橋だった事から名付けられたとされる。欄干を模した碑が当時を偲ばせる。

孫文先生故縁之地 4-E

辛亥革命を起こし、中華民国を建国した孫文が、長崎を訪れるたびに足を運んだ地。ここには、鈴木天眼が創刊者である「東洋日の出新聞社」があった。鈴木天眼は、孫文の革命運動の支援に尽力した。

大浦けい居宅跡 4-F

幕末の志士たちを援助したといわれる大浦けいは、油商の娘としてここに生まれる。イギリス商人オルトと手を結び、日本茶を海外へ輸出、莫大な富を築くも、煙草取引の連帯保証人となった事をきっかけに破産。危篤の中、茶業振興功労褒賞を贈られ、波瀾の生涯をとじる。

崇福寺 4-H

国宝や文化財の宝庫である唐寺。寛永6年(1629)、長崎に在住していた福建省出身の中国人たちにより創建された。朱色が美しい竜宮門をくぐれば、日本では類をみない、さまざまな中国風の建築様式に出会える。



至 大浦・グラバー園

至 田上・茂木

←至 長崎県庁・大波止